

# 第132期 株主通信

2011年4月1日～2012年3月31日



## CONTENTS

- 1 株主の皆さまへ
- 2 業績の概況
- 3 生活・産業資材部門の取り組み  
豊かな暮らしを実現する  
共同印刷の  
技術・製品の開発
- 5 営業の概況
- 9 連結財務諸表の概要
- 11 株式の状況
- 13 共同印刷グループネットワーク

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第132期(2011年4月1日～2012年3月31日)の決算が終了いたしましたので、事業概況をご報告申し上げます。

近年、印刷物に代わるデジタル媒体の普及が急速に進み、印刷需要は年々減少しております。さらに、2011年度は東日本大震災による影響も重なり、印刷業界は大変厳しい経営環境におかれまして。このように市場が縮小するなかで、共同印刷グループは事業領域拡大のための諸施策を実施し、新たな収益源の開拓に取り組みました。さらに、抜本的なコスト構造改革に着手するとともに、生産効率向上の活動を継続し、利益の確保に努めました。その結果、当期における業績は、売上高が前期を下回りましたが、利益は上回り、減収増益となりました。

なお、当期の期末配当金は前期同様1株につき4円とし、中間配当金と合わせた年間配当金は1株につき8円とさせていただきます。

今後も引き続き印刷需要は縮小すると思われませんが、一方で市場は変化し、コンテンツのデジタル化や業務のアウトソーシング化、そして製品の高機能化などさまざまなニーズとビジネスチャンスが生まれようとしています。当グループはこれらに対し、積極的に経営資源を投入し、事業基盤の強化と業績の拡大を図り、新たな成長を実現することによって企業価値の向上をめざしてまいります。

株主の皆様におかれましては一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

2012年6月

代表取締役社長

稲本 歳明



## 業績の概況

当期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響からのゆるやかな回復の動きが見られたものの、欧州危機を背景とした海外経済の減速や円高の進行により、依然として先行き不透明な状況が続きました。印刷業界におきましては、紙媒体から電子媒体への移行が加速すると同時に、企業の経費削減によって印刷需要が縮小し、厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか、共同印刷グループは中期経営方針「事業領域の拡大により売上拡大を実現する」に基づき、グループ一丸となって業績向上に取り組みました。出版商印部門およびビジネスメディア部門ではトータルソリューション提案を強化し、販促支援サービスや業務支援サービスの受注拡大を図りました。生活・産業資材部門では技術的な強みを生かした高

機能材料の拡販に努め、事業領域の拡大を推進しました。

また、材料費、外注加工費削減などのコストダウン活動や工程時間短縮などの効率化を進めるとともに、人員削減によって抜本的なコスト構造改革を実施し、利益の向上に努めました。

当期における連結売上高は、出版商印部門と生活・産業資材部門が増加したものの、ビジネスメディア部門が減少し、前期比1.3%減の970億4千万円となりました。連結営業利益は19億3千3百万円(前期比251.4%増)、連結経常利益は25億3千4百万円(前期比118.6%増)、連結当期純利益は13億2千万円(前期は当期純損失15億9千2百万円)となりました。

単位:百万円

	前期(2011年3月期)	当期(2012年3月期)	対前期増減率
連結売上高	98,328	97,040	△1.3%
連結営業利益	550	1,933	251.4%
連結経常利益	1,159	2,534	118.6%
連結当期純利益又は損失	△1,592	1,320	—
1株あたりの配当金	8円	8円	—



## 豊かな暮らしを実現する 共同印刷の 技術・製品の開発

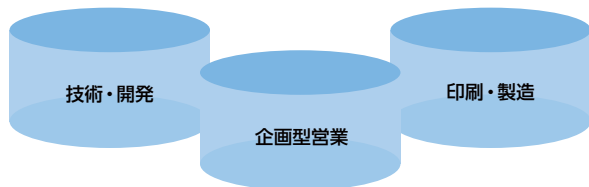
共同印刷グループは、多様化する生活者やお客さまのニーズへの確に応えるとともに、安全性や地球環境に配慮した製品をお届けしています。



### 機能性包材で暮らしを快適に

当グループは、さまざまなパッケージをはじめ、独自技術で生み出した高機能フィルムなどを市場へ提供することで、より便利で快適、かつ持続性のある社会の実現に貢献しています。

生活・産業資材系分野を取り扱う<sup>エルアイ</sup>事業部では、お客さまの課題解決のために材料選定から形態の提案、デザイン、包装機械までをトータルプロデュースする「企画型営業」、ニーズに合わせた高品質・高機能な製品をつくる「技術・開発」、開発した製品を安定した品質で効率的に量産する「印刷・製造」という3つの強みを生かして暮らしの課題を解決し、市場からの要望に応じています。



### 独自技術で医薬品の進化に貢献

近年、医薬品の進化はめざましく、多くの人々の命を救えるようになりました。しかし、医薬品は保存が難しく、方法を間違えば大きな医療事故につながりかねません。品質を損なわずにしっかり保存する「パッケージの進化」は、医薬品の進化を支える重要な要素といえます。

薬剤の安定性を妨げる主な要因は、水分と酸素です。この2つから医薬品を守るために乾燥剤や脱酸素剤を封入することがありますが、誤飲リスクや生産性、品質保証面で問題が発生することがありました。



吸着・吸湿機能材料  
モイストキャッチ<sup>®</sup>

医薬品分野だけでなく電気・電子製品分野でも、リチウムイオン電池や薄型ディスプレイなどの製品に求められる「水分制御」「軽量・薄型化」「加工適性」の実現に有効と認められ、高い評価を受けています。

そこで当グループは、水分や酸素を除去できるアクティブ包材「モイストキャッチ®」「オキシキャッチ®」を開発し、生産性や安全性を維持しつつ薬剤の保存安定性を高める商品として市場に供給しています。

また、安定的かつ持続的な供給をめざし、2010年守谷工場内に医薬・産業資材棟を新設しました。2011年度は、本格生産開始に向け準備を鋭意進めてきました。今後も、当社の独自技術を生かしたオンリーワン製品を取り扱う工場としてあらゆる事態に備え、安定した供給を実現する体制構築に努めていきます。

### “安心”“便利”をキーワードに 生活をより豊かにする包装材料技術を開発

調理時に火傷の心配がない即席カップ麺の焼きそば用「湯切りフタ材」、環境に配慮した生分解性プラスチックを使用した「食品ラップフィルムカット用刃材」、温める際に別の容器へ移さなくても電子レンジで安全に加熱できる「クイックデリ®」など、ユニークな包装材料を市場に提供しています。

2011年度は、密封性と開封しやすさを両立し、使いやすさを追求したトップオープン包材「バナナオープン」を、製袋・充填シール装置とともに開発しました。1枚のフィルムで製袋する本製品は、ゴミを出さずに容器とフタを作り出せます。開けやすい低温シール部分と、しっかりと密着する高温シール部分を組み合わせ、確かな密封性を保ちながら、軽い力で開封できる包材となりました。現在、商品化に向けた開発を進めています。

今後も、環境に配慮した素材と“安心”“便利”をキーワードに、誰にでも使いやすい包装材料の提供を推進していきます。

### アジア市場における事業拡大をめざし 中国現地法人を設立

2012年2月、アジア市場への生活・産業資材分野の事業拡大を図るため、中国上海市に現地法人・共印商貿(上海)有限公司を設立しました。

生活・産業資材分野では、独自技術による高機能製品を「KYODOプレミアム」と名づけ、食品・日用品・化粧品・建装材・医薬品などの包装用資材として、国内を中心に販売してきました。

今後は、KYODOプレミアム製品の販売と中国包装材料メーカーとの提携によって、地域の市場特性をより早く把握するとともに、よりスピード感をもった営業活動を推進し、アジア市場において積極的な事業展開を図ります。

#### 【現地法人の概要】

会社名	共印商貿(上海)有限公司
所在地	中華人民共和国上海市
代表者 董事長	清水市司(当社常務取締役)
設立年月日	2012年2月29日
資本金	80百万円
事業内容	機能的包装材料を中心とした 販売および輸出入
出資比率	共同印刷株式会社 100%



易開封フレキシブルパッケージ  
バナナオープン

1枚のフィルムから容器とフタを作った後、内容物を充填できる、生産効率性の高い製品です。受け皿とフタのような形態のため内容物が型崩れせず、軟包装でありながら中身の保管や保護が容易です。



# 営業の概況

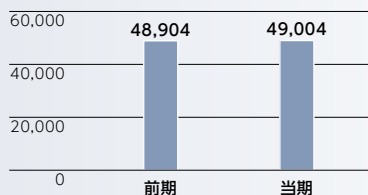
## 出版商印部門

- 定期刊行物
- 書籍
- 一般商業印刷
- 電子書籍など

売上高構成比



売上高(百万円)



連結売上高  
490億4百万円  
前期比  
0.2%増

出版印刷では、コンテンツのデジタル化サービスを推進し、電子書籍および関連する印刷物の受注拡大に取り組みましたが、コミックスや単行本が減少し、定期刊行物も減少したため、前期を下回りました。

一般商業印刷では、ソリューションメニューの開発を強化し、トータル受注による売上拡大に取り組んだ結果、情報誌は減少しましたが、キャンペーン事務局受託やカタログ、パンフレット、販促DMなどが増加したため、前期を上回りました。

以上の結果、部門全体では前期を上回りました。

今後、出版印刷においては、まんがの受注拡大をめざして、まんがフルデジタ

ル制作システム「Comic Packer®」を活用したサービスに注力するとともに、五霞工場の一貫生産体制を生かして、お客さまの求める短納期化、小ロット化への対応力を強化します。また「学び」に特化した電子書店「自己ガク™」を充実させ、電子書籍市場において特色あるサービスを提供いたします。

一般商業印刷においては、紙媒体とデジタル媒体をリンクさせたクロスメディ



一般商業印刷(カタログ・情報誌など)

ア提案によって、キャンペーン事務局、CRM\*分野、Web・モバイルコンテンツ作成など販促関連領域での受注を拡大するとともに、コールセンター機能、ロジスティックス機能を強化して、お客さまの企業活動を支援するパートナーとなることをめざします。

\* CRMとは、Customer Relationship Managementの略。データベースを活用した効率的なコミュニケーションにより、顧客を維持拡大する仕組み。



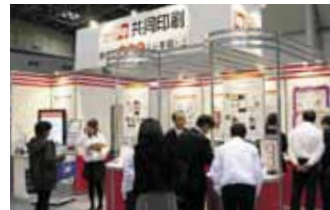
出版印刷

## TOPICS 展示会へ出展、“売れる”仕組みをアピール

2011年5月、「第1回スマートフォン&モバイルEXPO」に出展し、デジタルデバイスを活用して企業と生活者をつなぐ、効率的で効果が高い販促サービスやソリューションを各種紹介しました。

スマートフォンなどのカメラを画像にかざすだけで、対応するコンテンツなどを素早く呼び出すことができる画像認識エンジン「ぱとりしあ®」への関心が高く、今後の拡販に弾みをつける出展となりました。現在、新しい情報コミュニケーションツールとして積極的な営業活動を展開しています。

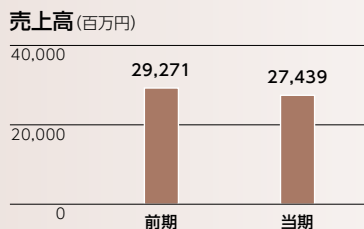
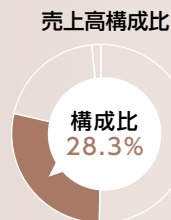
ぱとりしあの詳細はWebサイトをご覧ください。 <http://www.kyodoprinting.co.jp/patricia/index.html>



2011年11月開催の「デジタルマーケティングNEXT2011」にも出展し、拡販に努めました

## ビジネスメディア部門

- ビジネスフォーム
- データプリント
- BPO\*業務
- 通帳・証券類
- 各種カードなど



連結売上高  
274億3千9百万円

前期比  
6.3%減

ビジネスメディア部門では、ビジネスフォームや証券類など既存印刷製品の受注拡大に努めるとともに、官公庁や金融機関を中心にデータプリントと周辺業務の受託拡大に取り組みました。ビジネスフォームや証券類は増加しましたが、通信分野向けのICカードが減少し、部門全体では前期を下回りました。

現在、官公庁や金融業界をはじめとするさまざまな分野で高まっているアウトソーシングニーズに応えるため、データプリントと周辺業務を一括して受託するBPO\*業務への対応力を強化します。幅広い得意先に対して営業活動を展開するとともに、サービスメニューの充実とシステム化による作業効率の向上に努め、受注拡大をめざします。ビジネス

フォームや証券類、ICカードなどの既存印刷製品についても、新規得意先および新市場の開拓に努め受注拡大に向けて積極的な営業活動を行うとともに、生産ラインの合理化などのコストダウン施策に取り組みます。

※ BPOとは、Business Process Outsourcingの略。お客さまの負担となっている業務を請け負う事業のこと。



ICカード



ビジネスフォーム・証券など

### TOPICS 川島工場で「振り込め詐欺被害防止コールセンター」運用

2011年9月から2012年3月まで、埼玉県警察の「振り込め詐欺被害防止コールセンター」を運用しました。これは、同県警が力を入れる振り込め詐欺撲滅に向けた対策の一つで、コールセンターのオペレーターは、埼玉県内の各家庭に電話をかけて詐欺の手口をお知らせしながら警戒・注意喚起を呼びかけ、被害拡大の防止に努めました。

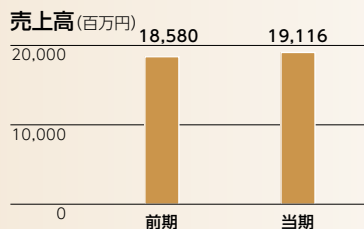
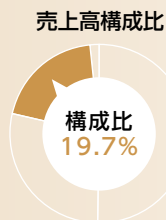
本コールセンターの運用を通じて得たノウハウを、BPOサービスのさらなる向上に生かしていきます。



コールセンターの様子

## 生活・産業資材部門

- 紙器
- 軟包装
- チューブ
- 建材
- 金属印刷
- 高機能材料など



連結売上高  
191億1千6百万円  
前期比  
2.9%増

生活・産業資材部門では、技術的な強みを生かした高機能材料の拡販に努め、新規得意先や海外市場の開拓に取り組みました。紙器や建材製品が減少しましたが、歯磨き用や化粧品用を中心としたラミネートチューブは好調に推移し、ラーメン用などの軟包装や、金属印刷も増加したため、部門全体で前期を上回り

ました。

今後は、既存製品のシェア拡大と開発製品の国内外への拡販によって売上拡大を図ります。特にラミネートチューブのさらなるシェア拡大に取り組むとともに、医薬・化粧品業界に対して、メンバーチューブやオーバルチューブの拡販に努めます。また、ラップカートン

やパーシャルオープン、業務用包材セパシートなどの機能性包材を、国内外の市場へ積極的に販売します。さらに「モイストキャッチ®」「オキシキャッチ®」などの高機能材料に対しては、開発投資、設備投資を積極的に行って新規得意先への拡販を進め、事業規模拡大をめざします。



鏡面性を追求した高級鏡面化粧板  
「ミロワール®」



湿気やアウトガスを除去する吸着・吸湿機能材料  
「モイストキャッチ®」



紙器・軟包装・チューブ・金属印刷など

### TOPICS 薬効や香りを逃さない機能性材料「非吸着性フィルム」開発

2011年11月、独自の混練技術を確認し、非吸着性・ガスバリア性・保香性などの機能性と、従来は融合が困難だったヒートシール性を両立した「非吸着性フィルム」を開発しました。これにより、医薬品や化粧品の有効成分を失わずに直接包装することももちろん、当社オリジナルの吸着・吸湿機能材料「モイストキャッチ®」などとの組み合わせによる、顧客ニーズに沿った包装材の提供が可能になりました。

現在、2012年度中の市場参入をめざして、生産体制確立に向けた技術開発と、医薬品や食品、化粧品などを取り扱うお客さまへの拡販を進めています。



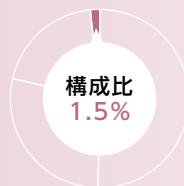
薬効や香りを逃さず、ヒートシール性を持つ「非吸着性フィルム」



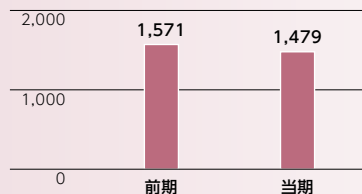
## その他

- 不動産管理
- 物流業務など

### 売上高構成比



### 売上高(百万円)



連結売上高  
14億7千9百万円  
前期比  
5.9%減

物流業務が増加しましたが、その他が減少したため、部門全体では前期を下回りました。



共同物流株式会社  
越生保管センター

## TOPICS

### コンクール受賞報告

当社が制作に携わったさまざまな製品が各コンクールで賞を受けました

国内で刊行された本から印刷・製本・加工技術に優れた製品を評する

#### 第45回 造本装幀コンクール

- 審査員奨励賞  
(株)講談社「ソックモンキーのおくりもの」
- 日本印刷産業連合会会長賞  
(株)ディスカヴァー・トゥエンティワン「超訳 ニーチェの言葉」

POP広告に関する日本最大・唯一のコンテスト

#### 2011・41st JPM Creative Design Show

- キット部門 銀賞  
サンヨー食品販売(株)「サンヨー食品大陳コンテストツール」

カタログ・ポスターの秀作が集合

#### 第53回 全国カタログ・ポスター展

- 通販部門 銀賞  
プラス(株)「STAGEO FREE カタログ」
- PR誌部門 銅賞  
(株)資生堂 企業文化部「花椿 みる」「花椿 よむ」10冊組



印刷技術やデザイン力、機能性などに優れた作品を厳選

#### 第63回 全国カレンダー展

- 経済産業省商務情報政策局長賞  
清水建設(株)
- エヌ・ティ・ティレゾナント(株)
- 日本マーケティング協会賞  
(株)トヨタマーケティングジャパン
- 日本印刷新聞社賞  
(株)資生堂
- (有)いわさきちひろ作品普及会【壁掛け】【卓上】  
※資生堂カレンダーは、ドイツ・シュツットガルトで開催された「国際カレンダー展」の銅賞も受賞
- 実行委員会奨励賞  
住友林業(株)  
藤森工業(株)



# 連結財務諸表の概要

前期(131期)…2011年3月期(2010年4月1日から2011年3月31日まで)  
 当期(132期)…2012年3月期(2011年4月1日から2012年3月31日まで)

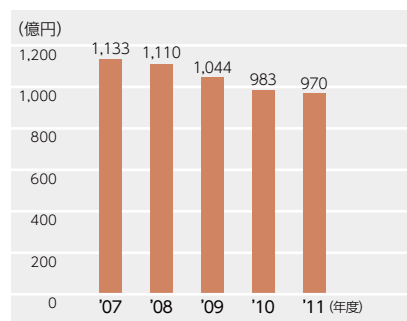
## ●連結貸借対照表

	前期末	当期末
<b>資産の部</b>		
流動資産	47,362	47,100
固定資産	50,967	48,046
有形固定資産	39,951	37,695
無形固定資産	1,002	979
投資その他の資産	10,014	9,372
<b>資産合計</b>	<b>98,330</b>	<b>95,146</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	35,379	28,664
固定負債	15,325	18,158
<b>負債合計</b>	<b>50,704</b>	<b>46,822</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	47,088	47,680
資本金	4,510	4,510
資本剰余金	1,742	1,742
利益剰余金	40,879	41,472
自己株式	△ 44	△ 44
その他の包括利益累計額	537	644
その他有価証券評価差額金	654	779
為替換算調整勘定	△ 116	△ 135
<b>純資産合計</b>	<b>47,626</b>	<b>48,324</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>98,330</b>	<b>95,146</b>

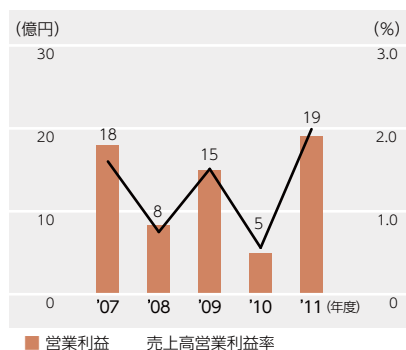
## ●連結損益計算書

	前期	当期
<b>売上高</b>	<b>98,328</b>	<b>97,040</b>
売上原価	84,223	81,835
<b>売上総利益</b>	<b>14,105</b>	<b>15,205</b>
販売費及び一般管理費	13,555	13,271
<b>営業利益</b>	<b>550</b>	<b>1,933</b>
営業外収益	1,055	1,028
営業外費用	446	428
<b>経常利益</b>	<b>1,159</b>	<b>2,534</b>
特別利益	206	266
特別損失	3,495	384
<b>税金等調整前当期純利益又は損失(△)</b>	<b>△ 2,129</b>	<b>2,415</b>
法人税等合計	△ 525	1,094
<b>少数株主損益調整前当期純利益又は損失(△)</b>	<b>△ 1,604</b>	<b>1,320</b>
少数株主損失(△)	△ 11	—
<b>当期純利益又は損失(△)</b>	<b>△ 1,592</b>	<b>1,320</b>
(注)一般管理費および当期製造費用に含まれる研究開発費	1,319	1,497

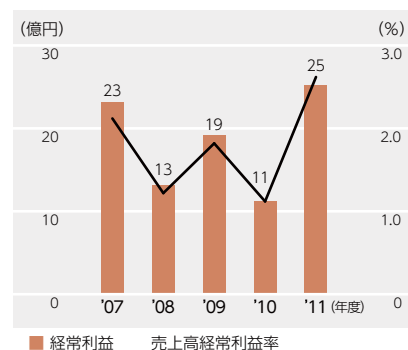
## 売上高



## 営業利益／売上高営業利益率



## 経常利益／売上高経常利益率



## ●連結株主資本等変動計算書(2011年4月1日から2012年3月31日まで)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	4,510	1,742	40,879	△ 44	47,088	654	△ 116	537	47,626
当期変動額									
持分法の適用範囲の変動			△ 7		△ 7				△ 7
剰余金の配当			△ 721		△ 721				△ 721
当期純利益			1,320		1,320				1,320
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						124	△ 18	106	106
当期変動額合計	—	—	592	△ 0	592	124	△ 18	106	698
当期末残高	4,510	1,742	41,472	△ 44	47,680	779	△ 135	644	48,324

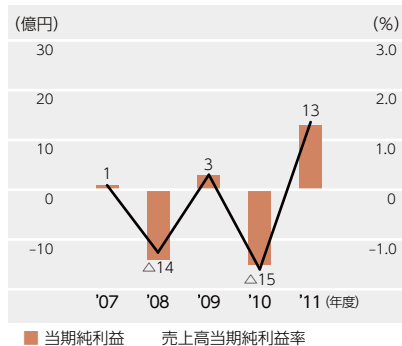
## ●連結包括利益計算書

	前期	当期
少数株主損益調整前		
当期純利益又は損失(△)	△ 1,604	1,320
その他の包括利益	△ 437	106
その他有価証券評価差額金	△ 489	124
為替換算調整勘定	△ 16	△ 18
持分法適用会社に対する持分相当額	69	0
<b>包括利益</b>	<b>△ 2,041</b>	<b>1,427</b>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△ 2,025	1,427
少数株主に係る包括利益	△ 16	—

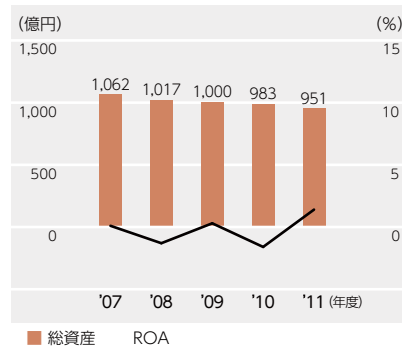
## ●連結キャッシュ・フロー計算書

	前期	当期
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,831	7,132
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,727	△ 4,168
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,262	△ 3,350
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 10	△ 18
現金及び現金同等物の増減額	△ 643	△ 404
現金及び現金同等物の期首残高	12,900	12,256
現金及び現金同等物の期末残高	12,256	11,851

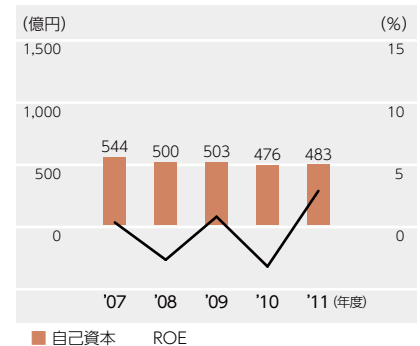
### 当期純利益／売上高当期純利益率



### 総資産／総資産利益率(ROA)



### 自己資本／自己資本利益率(ROE)



# 株式の状況 (2012年3月31日現在)

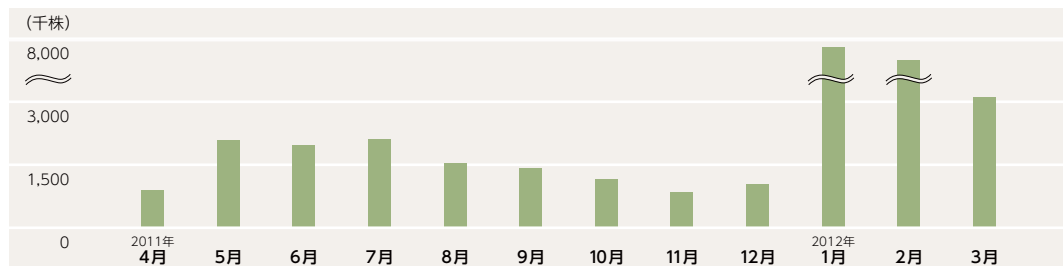
## ● 株価および売買高の推移 (東京証券取引所)

### 株価の推移

(終値ベースの高低)



### 売買高の推移



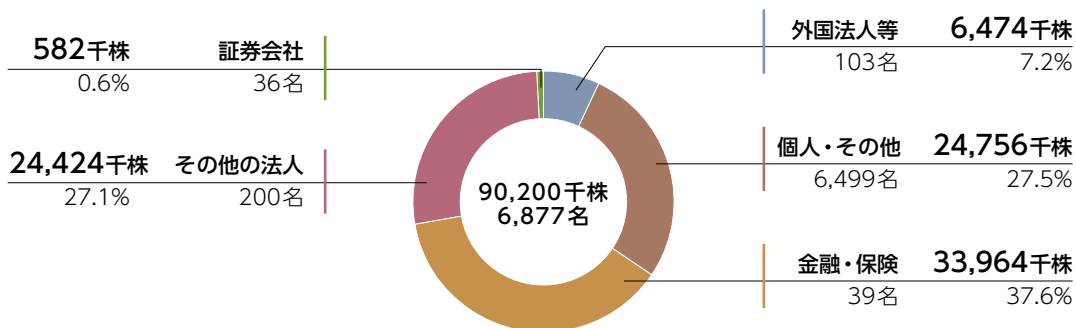
## ● 大株主の状況

氏名または名称	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	13,151	14.59
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (退職給付信託口・DIC株式会社口)	8,541	9.48
東京インキ株式会社	5,830	6.47
株式会社みずほ銀行	2,831	3.14
朝日生命保険相互会社	2,500	2.77
東洋インキSCホールディングス株式会社	2,169	2.41
共同印刷従業員持株会	1,779	1.97
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク銀行株式会社)	1,759	1.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,658	1.84
中央三井信託銀行株式会社	1,482	1.64
計	41,701	46.26

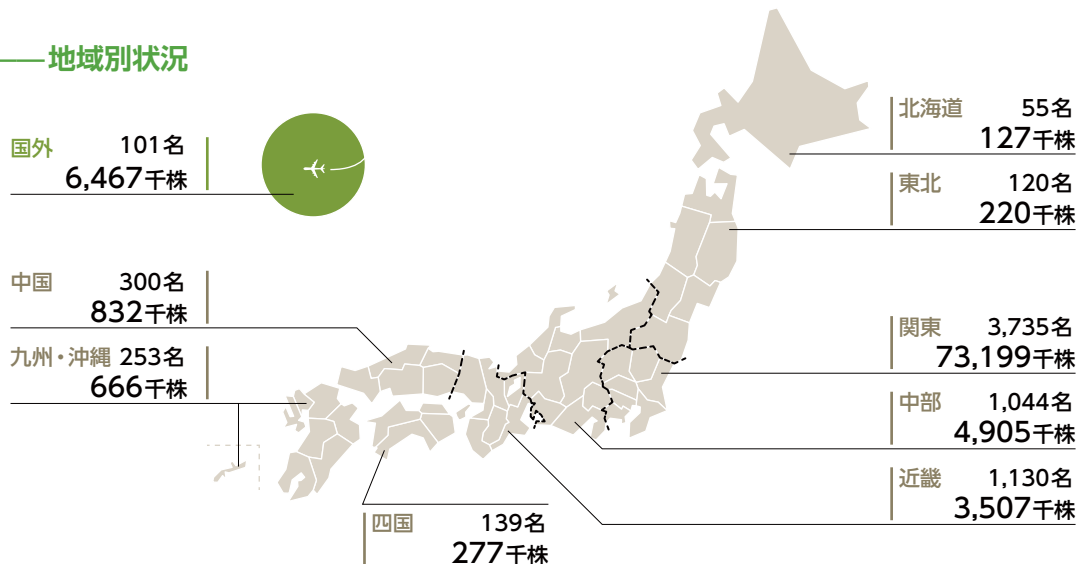
## ●株式の状況

発行可能株式総数	360,800,000株
発行済株式総数	90,200,000株
単元株式数	1,000株
株主数	6,877名

## ●株式分布状況——所有者別状況(株式数比率)



## ●株式分布状況——地域別状況





# 共同印刷グループネットワーク (2012年4月30日現在)

## ●会社概要

会社商号	共同印刷株式会社 (Kyodo Printing Co., Ltd.)
創業年月日	1897(明治30)年6月25日
設立年月日	1925(大正14)年12月26日
資本金	45億1千万円
本社	〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12 Tel. 03-3817-2071 (CSR本部コーポレートコミュニケーション部)
社員数	連結 2,723名
(臨時員含まず)	単体 1,862名

## ●役員紹介 (2012年6月28日付)

### 取締役

代表取締役社長	稲木 歳明	取締役	大澤 春雄
専務取締役	赤坂 洋輔	取締役	大久保隆司
専務取締役	藤森 康彰	取締役	齋藤 文孝
常務取締役	三吉 幹夫	取締役	今村 敏夫
常務取締役	小笠原 誠	取締役	人見 実
常務取締役	清水 市司	取締役	梶山 正義
取締役	半田 正章	取締役	渡邊 秀典
取締役	井戸 一喜	取締役	里村 憲治

### 監査役

常勤監査役	谷 公明	
常勤監査役	朝比奈治美	
社外監査役	小澤 優一	弁護士
社外監査役	公文 敬	

## 出版商印部門

小石川工場  
出版印刷・一般商業印刷



五霞工場  
出版印刷・一般商業印刷



越谷工場(共同オフセット(株))  
出版印刷・一般商業印刷



苫小牧工場((株)コスモグラフィック)  
プリプレス



## ●子会社

(株)コスモグラフィック  
東京都文京区ノプリプレス

小石川プロセス(株)  
東京都文京区ノプリプレス

共同オフセット(株)  
埼玉県越谷市ノ印刷・製本

共同印刷製本(株)  
茨城県五霞町ノ製本

## ビジネスメディア部門

### 鶴ヶ島工場

カード、証券類、ビジネスフォーム



### 川島工場

データプリント、BPO業務、ビジネスフォーム



### 京都工場(共同印刷西日本(株))

データプリント、カード



### ●子会社

#### 共同印刷西日本(株)

大阪府大阪市／印刷

## 生活・産業資材部門

### 小田原工場

ラミネートチューブ、ブローチューブ



### 和歌山工場

ラミネートチューブ



### 守谷工場

紙器、軟包装材、医薬・産業資材



### 磯原工場(常磐共同印刷(株))

建材、切符地紋類、紙器



### ●子会社

#### 常磐共同印刷(株)

茨城県北茨城市／印刷

#### 共印商貿(上海)有限公司

中華人民共和国上海市／

機能性包装材料を中心とした販売および輸出入

## その他

### ●子会社

#### 共同物流(株)

東京都文京区／  
梱包・輸送・保管

#### 共同総業(株)

東京都文京区／  
不動産賃貸および管理・  
損害保険等代理業

#### 共同印刷ビジネス ソリューションズ(株)

東京都文京区／  
システム開発・運営、  
ソリューションビジネス

#### (株)日本書籍新社

東京都文京区／出版

### ●関連会社

#### 共同製本(株)

東京都文京区／製本

#### デジタルカタパルト(株)

東京都千代田区／  
デジタルコンテンツの制作・  
編集および販売

※千葉共同印刷(株)は、当社が所有する株式を一部売却したため、関連会社から除外しました。

# 株式のご案内

**決算期** 3月31日  
**定時株主総会** 毎年6月  
**株主確定基準日** 定時株主総会・期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日  
その他必要あるときは予め公告する日  
**公告方法** 電子公告  
ただし電子公告による公告ができない場合は、  
日本経済新聞に掲載して行います。  
公告およびIR情報などを掲載するWebサイトアドレス  
<http://www.kyodoprinting.co.jp/>

**上場証券取引所** 東京証券取引所  
**株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
**郵便物送付先** 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
**電話照会先** 電話0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各  
支店で行っています。

## お知らせ 住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

## 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主さまにつきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主さまは大切に保管ください。

以上